

各 位

新型コロナウイルス感染症の発生状況について

5月に入ってから、村山地区高校において、新型コロナウイルスの感染が拡大しておりますが、本校におけるこれまでの発生状況をお知らせいたします。

山形市内の高校で感染者が確認されたとの情報を得てすぐ、地区高校総体で対戦した生徒については自宅待機をさせました。その後、感染が確認されている別の競技に出場した生徒の中に体調不良を訴えるものが現れ、14日に1名、15日に1名の感染が判明しました。そして、保健所の指導により14日午後から臨時休業しておりましたが、この間、同じ部や同じクラスの中にも体調不良の生徒が現れ、検査の結果、感染経路が不明なものも含め18日までに5名の感染が判明しました。そして20日までに、感染した生徒と接触の可能性のあった生徒に幅広くPCR検査を実施しましたが、新たな感染者は確認されず、保健所の指導により24日に授業を再開いたしました。

そして、25日、体調不良により通院した生徒がPCR検査を受けたところ陽性となりました。本生徒につきましては、14日の休校後25日まで登校しておらず、また先に述べた感染の濃厚接触者にも該当していないため、学校における特別な対応は不要との保健所からの助言をいただきました。

学校としましては、常々感染防止を呼びかけ、変異型ウイルスが広がり始めていることから常時マスクを着用するなど、これまで以上に徹底した対策を行うよう注意喚起を図って参りましたが、感染者が発生し、改めて新型コロナウイルスの脅威を感じているところです。

このたびは生徒・保護者の皆様に加え、地域の皆様にも大変なご心配をおかけしております。「新型コロナウイルスに感染した20歳未満の子供の半数近くが無症状」といった厚生労働省の発表もあり、感染した生徒に何か非があるわけではありませんので、温かく見守っていただければ幸いです。

学校としましては、学校再開にあたって作成した『新型コロナウイルス感染防止重点対策』を徹底しながら、全力で感染の拡大防止に努めるとともに、感染拡大防止の観点から必要と思われる情報については、プライバシーに配慮しつつ、適宜公表させていただきますので、今後ともご理解とご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

令和3年5月26日

学校法人富澤学園 山形城北高等学校
校長 大沼 敏美